

2019年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493500217	事業の開始年月日	平成25年4月1日
		指定年月日	平成25年4月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや		
所在地	(247-0007) 横浜市栄区小菅ヶ谷1-27-5		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和2年1月27日	評価結果 市町村受理日	令和2年7月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念経営、働いて頂くスタッフの皆さんに会社の方向性を示し理念を理解して頂き、みんなで力を合わせて入居者様には日々の生活を過ごして頂き、関わる方が幸せになって頂けるよう、希望を持てるように日々を築いていきます。入居者様に安心して頂ける環境を心掛け、医療面の充実やレクリエーション、役割提供を積極的に行っており笑顔が多いホームとなっております、入居者様とスタッフとの関係も良好であります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年6月25日	評価機関 評価決定日	令和2年7月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR「本郷台」駅から徒歩10分、あるいはJR「大船」駅からバスを利用し、最寄りのバス停から2、3分の場所にあります。近隣には中学校や小学校、保育園スーパーマーケット、ドラッグストアがあるほか、遊歩道を整備した「いたち川」が流れる暮らしやすい環境です。建物は木造2階建てで、敷地内に同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所を併設しています。

<優れている点>

新たに着任した現ホーム長は、理念の理解と共有のため、朝の申し送り時の理念唱和、理念の勉強会のほか、ミーティングでは、理念に基づき「何のためにケアを行っているのか」を話し合い、全員が理解できるよう努めています。また、職員は、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の行動指針に基づいた業務をしています。運営推進会議の中でも取り組みについて議題で取り上げ説明をしています。出席者から「きれいなホームを維持するのは大変でしょうね」と職員の業務を評価する感想が出ています。ホーム長以下職員は、「関わる方が幸せになれるように日々の活動を行う」ことを念頭に、皆が「笑顔」で、「安心」な環境作りに努めています。

<工夫点>

感染症の流行で、家族の面会を控えてもらっている時期は、入居者への声かけを特に多くすることを意識しています。入居者の些細な変化に気づくようにし、本人の心の部分に寄り添うようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に関して、毎朝朝礼時に読み合わせを行い、理念に関わる機会を設けています。	法人の理念のもとに「関わる方が幸せになれるように日々の活動を行う」ことを念頭に実践に努めています。朝の申し送り時に唱和し共有しているほか、ミーティングでは、理念に基づき「何のためにケアを行っているのか」を話し合っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	傾聴ボランティアや西本郷中学校職業体験など地域との関係性を築いております。又、クリスマスソングを歌いにルーテル教会の皆さんに来所して頂いています。	自治会に加入をしています。傾聴ボランティアや大正琴、クリスマス会にはクリスマスソングなどのボランティアの来訪を楽しみにしています。中学生と職業体験での触れ合いがあります。今後さらなる地域交流を増やす取り組みを考えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現時点では、地域の交流する事は少なく、これからの課題の一つです。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の参加者が少なく、今後地域の方にも少しでも多く参加して頂けるように考えていきたいと思えます。	運営推進会議は2ヶ月ごとに実施しています。主な参加メンバーは家族、地域包括支援センター担当者です。活動報告や運営状況の他、地域交流の推進、緊急時の対応、避難訓練、外国人技能実習生受け入れなどの議題や意見交換は運営に活かしています。	民生委員や知見を有する人など、運営推進会議に地域の人々の出席を得る働きかけの工夫が期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時にアドバイスを頂いたり、区役所主催の感染症の講習会に参加させて頂き、講習会の資料を参考に勉強会を行いました。	高齢者支援課が窓口です。運営推進会議の報告や要介護認定の申請代行など行政との連携を取っています。区主催の「感染症対策」などの研修会に参加し、事業所の運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っております。その人らしいケアを心掛け、入居者様、御家族様に不快な思いをさせないケアに取り組んでいきたいと思っております。	事業所の方針は「重要事項説明書」に明記しています。定期研修や身体拘束適正化委員会などを通して周知しています。不適切な言葉はその都度注意し、拘束のないケアに努めています。玄関の鍵は安全確保のため施錠していますが、入居者が外出の気配は、職員が見守り同行します。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待については、身体拘束勉強会時に伝えています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	着任してから成年後見制度についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時は文章の朗読、話し合い、説明を行い対応しております。ご不明な際は後日連絡頂けるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱の設置やケアプラン作成の際に御家族様からの意見書を頂き、御家族様の声を聞けるように対応しています。	家族の面会やアセスメント、運営推進会議で要望や意見を聞いています。家族とは「花咲く街新聞」を定期的に届けコミュニケーションを図っています。誕生会の写真の掲載時には家族から感謝の言葉と感想をもらっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝の朝礼やミーティング、時には、個別で意見や提案を聞く機会を設けています。	管理者は事業所に対する職員の要望や意見は、朝礼やミーティング、個人面談などの機会に聞いています。法人の代表とのコミュニケーションの機会もあります。管理者は日頃から職員が自由に意見や要望、提案など自由に言える環境を作っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の1泊での研修や毎月行われるトップマネジメント会議を代表者が行い、我々管理者とコミュニケーションを図り、リーダーシップなどの勉強会を通して自己成長を与えて頂く環境を築いて頂いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ご自分のスキルに合わせ、参加したい講習には参加して頂いています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月に一回のリスクマネジメント会議を本社で行い、各管理者が参加し、マネジメント、リーダーシップの講義を行い、各現場で落とししております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、報告、連絡、相談を徹底しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者前に要望を聞く機会を設け、スタッフ間で共有し、御家族様に安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を聞き、対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフと入居者様の関係は良好です。コミュニケーションを多く取り、笑顔も多いと思います。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居時に御家族様にも面会やコミュニケーションを取って頂くように協力を御願いしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様に御協力を頂きながら対応しております。	関係継続の大切さについて職員は理解しています。入居者の本人本位の意思を尊重しています。入居者の友人や知人の来訪の際は笑顔で迎え、居室で湯茶の接待をしています。散歩や市民の憩いの場では、地域の人達との馴染みの関係を作っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御本人様ペースで過ごして頂いています。日頃のレクリエーションから散歩など入居者様同士関わりを持って頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の声やご家族様の声を聞きながら意向の把握、検討を行っています。	アセスメントや「私をわかってシート」などから思いや意向の把握をしています。意思表示の困難な入居者の思いや意向は態度や行動、目つきなどのサインで汲み取ることもあります。家族の協力や生活歴から把握することもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活環境をスタッフ間で共有を行い、無理強いせずに御本人様ペースで経過して頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日1回の申し送りを行い、入居者様の状態確認に努めています。又、主治医、看護師と連携を図り対応を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。	通常モニタリングは3ヶ月ごとに行い、プランの見直しは6ヶ月ごとに実施しています。見直しの際は職員や医療情報のもとに作成しています。プランには本人の意見や「介護計画書作成についての御家族様の意見」シートを活かし、反映しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご入居者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、介護計画書の見直しに繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	チームケアに取り組んでいます。主治医の意見、訪問歯科、看護師など医療機関との連携を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ルーテル教会がクリスマスにクリスマスソングを歌いに来所して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に御家族様に受診は御願ひしております。ホームとしては、出来る範囲でお手伝いをさせて頂いています。かかりつけ医に関しては、御家族様の希望を優先しております。	現在は全入居者が事業所の協力医をかかりつけ医としています。非常勤看護職員の配置があり、丁寧な医療介護につなげています。協力医の専門外の受診の際は基本家族対応を依頼しています。受診結果はまず申し送りノートに記載し、職員間で共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し適切な処置を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、医療機関と定期的に連絡を取らせて頂き、状態の把握、情報交換に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期、お看取りを希望された場合、主治医、看護師、介護職員、御家族と連携を図り、支援を行っています。	入居時の指針に基づいた説明のほか、協力医、看護師を交えての家族との話し合いを繰り返し、重度化・終末期の方針を共有しています。職員はその都度、看取り支援についての話し合いをしています。これまでに数例の看取りを行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時に対応に関しては、ミーティング時にマニュアルを配布しています。又、何かあった際は責任者へ連絡する事は徹底出来ています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。又、運営推進会議時などに協力して頂けるように声を掛けていきたいと思っております。	年2回、併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で実施しています。消防署の協力も得ています。災害発生時のマニュアルの見直し、地域との協力体制については今後の検討としています。備蓄の食品は、3日分を用意しています。	災害発生時のマニュアルの見直し、地域との協力体制について検討し、災害時に備えることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないように注意し対応しております。	尊厳、人権、認知症理解、接遇など内部研修で理解を深めています。利用者を敬う気持ちを持ちつつ、一人ひとりの個性や考え方によりケースバイケースの対応をしながら信頼関係を築いています。入居者への声かけを多くし、心の部分に寄り添っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の現在の希望を聞く時間を作り、介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している。	職員ペースになってしまう日もあると思います。日々のケアを振り返りながら反省していきたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	出来る限りご本人様が選ばれた洋服を心掛けていますが、介助が必要な入居者様については、スタッフが選ぶ事が多くなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクの回数を増やしていき、食事を楽しむ機会を作りたいと思います。	外部業者に委託した献立と食材で、職員が手作りをしています。一品作ってもらったり、食器拭きをしてもらったり、本人の力に合った関わり場面をつくっています。誕生会でのケーキ作り、外食などでも「食」を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取状況や水分摂取状況の確認を行い、体調面に注意しております。著しく摂取量が低下している際は看護師へ報告を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、入居者様の咀嚼、嚥下低下に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレの声掛けや定期的なトイレ誘導を行い、出来る範囲で御本人様に行って頂いています。	トイレでの排泄を大切にしています。「水分摂取と排泄チェック表」を活用し、本人の排泄リズムやパターンを把握し、見守りながら声かけや誘導をしています。職員の適切な支援により、入居者は現状維持を保っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況の確認を行い、こまめに水分補給を行い対応し、便秘が続く際は、看護師指示で下剤で調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	理想は、入りたい時に入って頂くですが、現実的には厳しく、個々に応じた支援が出来ていない状態です。入浴中は、ゆっくりと経過して頂いています。	週2回以上、午前中に入浴を基本にしています。1階にリフトの設備があり、介護度の高い入居者も湯舟で温まることができます。拒否がある場合も無理強いせず、時間をずらして再度声をかけたり、日をあらためたりなど工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂き、休息や安心して気持ち良く過ごして頂けるように心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関してはダブルチェックを行い対応しています。目的や副作用に関しては申し送りノートで看護師より指示を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーションを一日の生活な取り組んでおります。天気の良い日は、散歩など外での活動を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望を把握に努め、出来る限りで希望に添えるように対応しております。御家族様とも連携を取っていきたいと思います。	事業所の近くに市民の憩いの場所「いたち川プロムナード」があり、安心・安全な遊歩道を散歩コースにしています。季節行事で花見や江の島、逗子、横浜ドライブを楽しんでいます。個別の外出は家族の協力を得ています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に立て替え制度で行っています。外出の際は商品を選んで頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現時点では、行えておりません。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでおり、整理・整頓・清掃・清潔に意識をしております。ホーム事態もバリアフリーで、オシャレな造りになっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫をしたり、無理強いほしくない生活環境に取り組んでおります。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様の愛着のある物を入居時に持って来て頂いております。入居前の環境が、そのままホームに移ったイメージです。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境に関しては、入居様が生活しやすい環境となっています。バリアフリーや手摺りなど安全に配慮し、出来る範囲で御本人様に行って頂く事を大切にしております。	/	

事業所名	グループホームちいさな手花咲く街横浜こすがや
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に関して、毎朝朝礼時に読み合わせを行い、理念に関わる機会を設けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	傾聴ボランティアや西本郷中学校職業体験など地域との関係性を築いております。又、クリスマスソングを歌いにルーテル教会の皆さんに来所して頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現時点では、地域の交流する事は少なく、これからの課題の一つです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の参加者が少なく、今後地域の方にも少しでも多く参加して頂けるように考えていきたいと思えます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時にアドバイスを頂いたり、区役所主催の感染症の講習会に参加させて頂き、講習会の資料を参考に勉強会を行いました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束勉強会を定期的に行っております。その人らしいケアを心掛け、入居者様、御家族様に不快な思いをさせないケアに取り組んでいきたいと思っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待については、身体拘束勉強会時に伝えています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	着任してから成年後見制度についての勉強会が出来ていない為、今後行っていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、解約時は文章の朗読、話し合い、説明を行い対応しております。ご不明な際は後日連絡頂けるようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱の設置やケアプラン作成の際に御家族様からの意見書を頂き、御家族様の声を聞けるように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝の朝礼やミーティング、時には、個別で意見や提案を聞く機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の1泊での研修や毎月行われるトップマネジメント会議を代表者が行い、我々管理者とコミュニケーションを図り、リーダーシップなどの勉強会を通して自己成長を与えて頂く環境を築いて頂いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	ご自分のスキルに合わせ、参加したい講習には参加して頂いています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	月に一回のリスクマネジメント会議を本社で行い、各管理者が参加し、マネジメント、リーダーシップの講義を行い、各現場で落とししております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	スタッフ間で連携を図り、情報共有、報告、連絡、相談を徹底しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居者前に要望を聞く機会を設け、スタッフ間で共有し、御家族様に安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、御家族様の意向を聞き、対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	スタッフと入居者様の関係は良好です。コミュニケーションを多く取り、笑顔も多いと思います。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居時に御家族様にも面会やコミュニケーションを取って頂くように協力を御願ひしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族様に御協力を頂きながら対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	御本人様ペースで過ごして頂いています。日頃のレクリエーションから散歩など入居者様同士関わりを持って頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	出来る範囲で対応を行う。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様の声やご家族様の声を聞きながら意向の把握、検討を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活環境をスタッフ間で共有を行い、無理強いせずに御本人様ペースで経過して頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日1回の申し送りを行い、入居者様の状態確認に努めています。又、主治医、看護師と連携を図り対応を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	御本人様、御家族様、看護師、介護スタッフの意見をお聞きし、介護計画書の作成を行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご入居者様の変化を個人記録や毎日の申し送りで記録に残し、介護計画書の見直しに繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	チームケアに取り組んでいます。主治医の意見、訪問歯科、看護師など医療機関との連携を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ルーテル教会がクリスマスにクリスマスソングを歌いに来所して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	基本的に御家族様に受診は御願ひしております。ホームとしては、出来る範囲でお手伝いをさせて頂いております。かかりつけ医に関しては、御家族様の希望を優先しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の変化、体調確認はスタッフ間で共有し、看護師に報告し適切な処置を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は、医療機関と定期的に連絡を取らせて頂き、状態の把握、情報交換に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期、お看取りを希望された場合、主治医、看護師、介護職員、御家族と連携を図り、支援を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時に対応に関しては、ミーティング時にマニュアルを配布しています。又、何かあった際は責任者へ連絡する事は徹底出来ています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	今現在は、訓練が不足していると考えられる為、もう一度マニュアルを見直し対応していきます。又、運営推進会議時などに協力して頂けるように声を掛けていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自尊心を傷つけないように注意し対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	定期的に御本人様の現在の希望を聞く時間を作り、介護計画書に繋げております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員ペースになってしまう日もあると思います。日々のケアを振り返りながら反省していきたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	出来る限りご本人様が選ばれた洋服を心掛けていますが、介助が必要な入居者様については、スタッフが選ぶ事が多くなっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材レクの回数を増やしていき、食事を楽しむ機会を作りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取状況や水分摂取状況の確認を行い、体調面に注意しております。著しく摂取量が低下している際は看護師へ報告を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、入居者様の咀嚼、嚥下低下に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレの声掛けや定期的なトイレ誘導を行い、出来る範囲で御本人様に行って頂いています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況の確認を行い、こまめに水分補給を行い対応し、便困が続く際は、看護師指示で下剤で調整しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	理想は、入りたい時に入って頂くですが、現実的には厳しく、個々に応じた支援が出来ていない状態です。入浴中は、ゆっくりと経過して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	御本人様ペースで過ごして頂き、休息や安心して気持ちよく過ごして頂けるように心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬に関してはダブルチェックを行い対応しています。目的や副作用に関しては申し送りノートで看護師より指示を受けています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割提供やレクリエーションを一日の生活な取り組んでおります。天気の良いは、散歩など外での活動を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望を把握に努め、出来る限りで希望に添えるように対応しております。御家族様とも連携を取っていきたいと思います。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に立て替え制度で行っています。外出の際は商品を選んで頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現時点では、行えておりません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	5 s 活動に取り組んでおり、整理・整頓・清掃・清潔に意識をしております。ホーム事態もバリアフリーで、オシャレな造りになっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	席の配置に工夫をしたり、無理強いほしくない生活環境に取り組んでおります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	御本人様の愛着のある物を入居時に持って来て頂いております。入居前の環境が、そのままホームに移ったイメージです。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境に関しては、入居者様が生活しやすい環境となっています。バリアフリーや手摺りなど安全に配慮し、出来る範囲で御本人様に行って頂く事を大切にしております。		

令和元年度

目標達成計画

事業所名：ちいさな手花咲く街横浜こすがや

作成日： 令和2年7月25日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議時、民生委員や知見を有する地域の人々の出席をして頂けるように働きかける事が工夫、期待される。	地域の方々に「花咲く街横浜こすがや」を知って頂き、小菅ヶ谷地区の方々に必要とされるホームを築けるようにしていく。	地域の民生委員や店、町内会の方々に挨拶を行い、運営推進会議参加への働きかけを行いたいと思います。	12ヶ月
2	13	災害発生時のマニュアルの見直し、地域との協力体制について検討し、災害時に備える事が期待される。	避難所までの経路確認と計画的な訓練を行い安心した環境整備を行う。	周辺住民の方々に挨拶を行い、災害時に協力を御願いとすると共にハザードマップを活用し、マニュアルの見直しを行います。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月